

平成 26 年度事務事業評価調書

事業コード	04010601	区 分	■ 実行 □ 経常
事務事業名	観光振興事業	担当部署名	地域振興課
		作成責任者職氏名	課長 北浦秀明
		内線	455
第4次総合計画体系	(基本柱)	(基本施策)	(細施策)
	04観光・産業・地域振興	01観光の振興	06観光情報発信の強化
実施期間	□ 単年 ■ 継続 (年度～ 年度)		実施方法 □ 直営 ■ 委託 □ 補助等
根拠法令等	□ 有 ■ 無	法令等の名称	— 義務付け □ 有 ■ 無

I 事務事業の概要<Plan>

(1)事務事業の目的及び内容	(2)対象(誰を対象とするのか)
<p>①目的</p> <p>村の観光振興、集客増、イメージアップに資する。</p> <p>②内容</p> <p>集客力を高めるため奉建塔周辺の花いっぱい事業の実施、村の観光を対外的にPRするための観光ボランティアの育成、新たな土産物の開発などをして、来村者の増を図る。</p>	<p>村民及び村外</p>
(3)期待される効果(本事業によって対象者をどのような状態にしたいのか)	(4)事務事業を進める上での課題や問題
<p>観光振興により来村者の増加を図り、村内の商工観光業者の事業収益の増加</p>	<p>奉建塔周辺のスイセンの丘が将来安定的に維持できるか</p>

II 事務事業の実施<Do>

		24 年度 実績	25 年度		26 年度 事業費(見込)	27 年度 事業費(見込)		
			事業費(予算)	実績(見込)				
事業費(見込含む)(千円)(A)		2,418	3,284	2,843	4,670	4,500		
財 源 内 訳	国庫支出金							
	府支出金							
	分担金・負担金							
	使用料・手数料							
	起債							
	その他の特財							
一般財源		2,418	3,284	2,843	4,670	4,500		
人 件 費	一般職員所要人員(人)(B)	0.20	0.20	0.20	0.20	0.20		
	一般職員人件費(平均給与×(B))(千円)(C)	1,109	1,178	1,178	1,178	1,178		
総コスト費(千円)(A+C)		3,527	4,462	4,021	5,848	5,678		
人口あたりコスト(円)		582	736	664	965	937		
(2)成果指標等								
番号	指標区分	指標名称	単位	25 年度			26 年度 目標値	27 年度 目標値
				目標値	実績値	達成率(%)		
①	目標指標	観光ボランティア育成	人	5	1	20%	2	2
②	目標指標							
③	目標指標							

○目標指標評価値(達成率平均値) 20% / 1 = 20% (A)

Ⅲ 事務事業の評価<Check>

(1)成果の自己検証		
評価項目	評価結果	評価の理由及びその考え方
①妥当性 ※施策の目的が村の政策体系に貢献しているか	3 4. 大いに貢献している 3. 概ね貢献している 2. あまり貢献していない 1. 貢献していない	交流人口の増を図るための条件整備に寄与している。
②有効性 ※期待された効果が得られているか	3 4. 効果がある 3. 一応の効果がある 2. あまり効果がない 1. 効果がない	多くの観光客が訪れたことから効果があった。
③効率性 ※効率的に進められているか	3 4. 非常に効率は良い 3. 概ね効率は良い 2. あまり効率は良くない 1. 効率は良くない	ボランティアの参加があり効率的である。
④公平性 ※受益や負担が公平になっているか	3 4. 公平である 3. 概ね公平である 2. 少し偏りがある 1. 公平ではない	金銭的な受益を得る住民は一部であるが、村の観光地としての受益は、住民が等しく受ける。

○事務事業評価値 (①～④の合計/16)	12	/16	75%	(B)
-------------------------	----	-----	-----	-----

(2)検証結果			
目標指標評価値 (A)	事務事業評価値 (B)	総合評価値 (A)+(B)/2	評価ランク(改善の目安)
20%	75%	48%	d
a: 90%以上(現状維持又は拡充) d: 30~49%(休止・廃止又は縮小) b: 70~89%(見直し又は現状維持) e: 30%未満(休止・廃止) c: 50~69%(縮小又は見直し改善)			

Ⅳ 事務事業改善の方向性<Action>

(1)改善の方向性	
①改善の方向性(自己評価)	②改善の方向性の理由、改善する上での具体的な改善策や課題等
A	← A: 拡充 B: 現状維持 C: 見直し D: 縮小 E: 休止・廃止
第4次総合計画のむらづくりの柱の一つで、より多くの来訪者を迎え入れ、交流人口の増加を図ることとしている。より多くの交流人口の増加を目指し、事業拡充を検討する。	

Ⅴ 事務事業評価結果(担当者は記入しないでください。)

(1)政策担当結果	
より多くの来訪者を迎え入れ、交流人口の増加を図るためにも、事業の拡充が必要であると考え。また、村だけでなく、近隣市町や村民も巻き込んだ取り組みが必要であると考え。	A A: 拡充 B: 現状維持 C: 見直し D: 縮小 E: 休止・廃止

(2)第三者による有識者会議結果	
	A A: 拡充 B: 現状維持 C: 見直し D: 縮小 E: 休止・廃止

(3)行政経営戦略会議結果	
より多くの来訪者を迎え入れ、交流人口の増加を図るためにも、事業の拡充が必要であると考え。また、村だけでなく、近隣市町や村民も巻き込んだ取り組みが必要であると考え。	A A: 拡充 B: 現状維持 C: 見直し D: 縮小 E: 休止・廃止